

地域金融機関で全国初！

「革新的データ産業活用計画」の認定を取得

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、地域金融機関として全国で初めて、総務省・経済産業省が実施するコネクテッド・インダストリーズ税制（IoT税制）に基づき、「革新的データ産業活用計画」の認定を受けましたので、お知らせいたします。

当金庫は、お客さまの様々な情報を金庫全体で共有し、リアルタイムに確認できる体制を構築いたしました。この取り組みが、一定のサイバーセキュリティ対策が講じられたデータ連携・利活用により、生産性を向上させる取り組みとして認定されました。

当金庫は、今後も最新のテクノロジーを積極的に活用し、お客さまに利便性の高いサービスを提供してまいります。